

年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇）	担任	〇〇 〇〇
組	4歳児 もも組		
ねらい	- 好きな遊びを見付け、友達と一緒に楽しむ。 - 思いや考えを言葉で伝えようとする。	内容	- 戸外で楽しんで遊ぶ。 - 友達との関わりを楽しむ。 - 自分の考えたことや思ったこと等を相手に伝える。
時刻	環境の構成	予想される幼児の活動	教師の援助
8:30	- 好きな戸外での遊びが見付けられるように遊具や道具を目に触れるように準備しておく。 - 砂山遊び （水が運べる道具） - 泥団子づくり（カップ） - 秋のコーナー （穴を空けたドングリ） （友達の作品） - 虫の観察（虫かご）（網） （秋の図鑑） - リレー（輪）（じょうろ）	〇登園する。 - 先生や友達とあいさつを交わす。 - 持ち物の始末をする。 〇好きな遊びをする。 - 砂山とトンネル - 水路作り - 秋のコーナー - 虫の観察 - リレー	- 一人一人と笑顔であいさつを交わし、健康状態を視診する。 - 持ち物の始末が終わったら、スモックを着用するように声をかける。 - 幼児の様子を受け止め、幼児が何をして遊びたいのかを把握し、好きな遊びが楽しめるように声をかけるなど援助する。 - 幼児の目に付きやすいように昨日の作品を教室に展示する。 - 連絡帳等に目を通し、家庭からの連絡事項や帰りの方法を確認する。 - 欠席する幼児の状況を把握する。
9:30	☆別紙 指導案参照	この日案は、一日の流れを時系列に整理し、環境の構成と予想される活動の両面から考えるものである。 ねらいをどのように達成するのかという具体的な教師の援助を予想される幼児の活動に対応して記入するとよい。 適切に教師が援助するためには、環境の構成を具体的にイメージすることが大切である。 登園から降園まで、具体的にいていねいに文章で表現することにより、保育のねらいや流れ、環境の構成に必要な教材や教師の関わり等が鮮明にイメージできる。 今日の中心になる活動については、別紙に指導案として、園庭や保育室のそれぞれの場所で、どのように活動が展開されるのかを予想し、図や文章で表現する工夫も考えられる。 また、適切な環境の構成や教師の援助のためには、実際に展開された幼児の生活の姿を記録に残していくことが必要である。さらに、それを「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と関連させて捉え、日案の下欄に反省や評価を記入する工夫も考えられる。ねらいに沿って、今日の指導や援助、環境の構成はどうであったか振り返りたい。 それぞれの園の実態や特色によって、形式や表現の仕方を工夫することが望まれる。	
10:30 11:00	- 幼児の思いが明日の遊ぶための準備になるものは、置保する。 - 落ち着いていたり感じたゆっくり交流でつくる。	- 庭や保育室のそれぞれの場所で、どのように活動が展開されるのかを予想し、図や文章で表現する工夫も考えられる。 - また、適切な環境の構成や教師の援助のためには、実際に展開された幼児の生活の姿を記録に残していくことが必要である。さらに、それを「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と関連させて捉え、日案の下欄に反省や評価を記入する工夫も考えられる。ねらいに沿って、今日の指導や援助、環境の構成はどうであったか振り返りたい。 - それぞれの園の実態や特色によって、形式や表現の仕方を工夫することが望まれる。	- て片付けかける。 - ない幼児たり文章思いが友を味わ - とや他のな活動をり聞い - 友達を意
11:30	- 持ち帰るものを忘れていないか確認する。 - 降園班から離れて帰る幼児は職員室に集合させ待機させる。（絵本・折り紙）	〇降園する。 - 集団降園する幼児はコース毎に集まる。 - 集団で降園しない幼児は職員室で、絵本を読んだり折り紙を折ったりして待つ。	- 識し、今日一日の達成感を味わえるようにする。 - 降園時の家庭からの連絡事項を確かめる。
反省 ・ 評価	※今日のねらいに沿った振り返りのポイント例 （幼児） - 友達と一緒に好きな遊びを楽しむことができたか。 - 思いや考えを言葉で伝えようとすることができたか。 （教師） - 幼児が友達と活動する楽しさを味わうことができるように援助できていたか。 - 幼児が思いや考えを伝えられるように援助できていたか。		